

地盤工学会 岡山セミナー 現地見学会のご案内

吉備高原は隆起準平原です。これは大昔の安定な環境で形成された小起伏面が現在も残っているものです。その形成に伴って堆積した山砂利層と中新統を観察します。中新統はたった10m程度の厚さしかないのに、1500万年たっても失われていないということは、当時の地形が所々残っているということです。吉備高原地域の安定性について現地で意見交換できるかと思います。

11月6日土曜 御津スポーツパーク（53号線を金川で宇甘川に沿って西）13時集合

見学地点で路側に停められるのは数台程度ですので、乗り合わせてご参加ください。[岡大理学部 12時半発](#)には2名余裕がありますので、zysuzuk@cc.okayama-u.ac.jpまでご連絡ください。



見学コース

- ① 28Ma 山砂利層（津高層）の礫相と基底との不整合
- ② 28Ma 山砂利層（足守層）の礫相
- ③ 道の駅かよう：28Ma?山砂利層と 16Ma 中新世海成層
- ④ ③から賀陽 IC～有漢 IC に移動：16Ma 中新世海成層



